

広 響 名 曲 コ ン サ ー ト



音楽の花束

春・秋・冬

世界トップレベルで活躍する金管楽器奏者がコンチェルトだけではなく、オーケストラ奏者の二刀流で出演する前代未聞のコンサートはプラスファン必見！
加えて次代を担う若手指揮者たちが広響デビューを飾る。
未来の巨匠となるか、その若き日の雄姿をぜひ会場で見届けよう！！

Spring

ルツェルン祝祭管弦楽団
首席ホルン奏者



ホルン
“柔らかな響き、雄大に”

指揮：熊倉 優 Masaru Kumakura
ホルン：アレッシオ・アレグリーニ*

リヒャルト・シュトラウス：ホルン協奏曲第1番変ホ長調*
スメタナ：連作交響詩「わが祖国」より モルダウ
チャイコフスキー：交響曲第5番ホ短調*

2018
5.12 [土] 15:00 開演
(14:00 開場)

Autumn

元ミュンヘンフィル
首席奏者



トランペット
“しなやかに、黄金の輝き”

指揮：太田 弦 Gen Ohta
トランペット：ウーヴェ・コミシュケ*
ナビゲーター：假屋崎 省吾

ハイドン：トランペット協奏曲変ホ長調*
リスト：交響詩「レ・プレリュード」
シベリウス：交響曲第2番ニ長調*

2018
10.28 [日] 15:00 開演
(14:00 開場)

Winter

ミュンヘン国際音楽コンクール
トロンボーン部門 史上初1位



トロンボーン
“魅惑の音色と圧倒的迫力”

指揮：園田 隆一郎 Ryuichiro Sonoda
トロンボーン：ファブリス・ミシエ*

ダヴィット：トロンボーンのためのコンチェルティーノ 変ホ長調*
リヒャルト・シュトラウス：交響詩「ドン・ファン」
ラヴェル：ラ・ヴァルス*
ラヴェル：ボレロ*

2019
2.2 [土] 15:00 開演
(14:00 開場)

*各公演ソリスト出演曲目



花・假屋崎省吾

会場 広島国際会議場フェニックスホール

International Conference Center Hiroshima Phoenix Hall 広島市中区中島町1-5(平和記念公園内) TEL:082-242-7777

料金(1回分) S席/4,200円(ペア6,400円) A席/3,200円 B席/2,200円
[税込・全席指定] 学生/1,500円(広響事務局のみ取扱い)

— “あなただけのマイシート” 名曲コンサートへは、1回券より断然お得な会員がおすすです！ —

料金(3回分) S席/8,800円 A席/6,700円
お申し込みは広響事務局までお電話ください。(5月11日まで受付)

主催/広島市・公益財団法人広島市文化財団・公益社団法人広島交響楽協会・中国新聞社
協賛/株式会社花満・広島県医師会・広島市医師会 春公演特別協賛/中国電力
お問い合わせ/広響事務局 Tel.082-532-3080 [受付時間 平日 9:00~17:20]

チケット取扱い

発売日：[春]=2/26(月) [秋]=5/13(日) [冬]=10/29(月)

エディオン広島本店・福屋八丁堀本店プレイガイド
福屋広島駅前店チケットサロン・アルパーク天満屋チケットサロン
広島アーツ楽器・ヤマハミュージック広島店管弦打楽器売場
JMSアステールプラザ情報交流ラウンジ・中国新聞社読者広報部
中国新聞販売所(取り寄せ)・広響事務局
チケットぴあ
(Pコード=[春]105-426 [秋]105-427 [冬]105-428)
ローソンチケット
(Lコード=[春]62387 [秋]62414 [冬]62420)

※Pコード、Lコードは公演により異なりますのでご注意ください。

※就学前のお子様のお入場はご遠慮ください。
※やむを得ぬ事情により出演者・曲目等を変更する場合がございます。

音楽の花束

春・秋・冬

世界トップレベルで活躍する金管楽器奏者を招き、前半はコンチェルト、後半はオーケストラ・プレーヤーの二刀流で出演する、ブラス・ファン必見、前代未聞のコンサート!

Spring

指揮:熊倉 優

Masaru Kumakura, Conductor

1992年東京生まれ。作曲を16歳より、指揮を大学入学時より始める。桐朋学園大学卒業及び同研究科修了。指揮を梅田俊明氏、下野竜也氏に師事。そのほかに、霧島国際音楽祭、びわ湖ホールオペラ指揮者セミナー等の講習会や海外で行われたマスタークラスに参加し、高関健、尻尾竜典、Harry Lyth、Norbert Baxa各氏の指導を受ける。

2017年には、Charles Olivieri-Munroe氏のマスタークラスに参加し、Karlovy Vary Symphony Orchestraを指揮。またEuropean Music Academy 2017では、North Czech Philharmonicとチェコのスメタナホールにて共演。

第26回京都フランス音楽アカデミーにて最優秀賞(第1位)受賞。第12回ドナウ国際指揮者コンクールで第2位受賞。2016年9月よりNHK交響楽団・首席指揮者バーヴォ・ヤルヴィ氏のアシスタントを、同年11月より同団アシスタントとして定期公演等に携わる。洗足学園音楽大学非常勤講師。

ホルン:アレッシオ・アレグリーニ

Alessio Allegrini, Horn

1997年ブラハの春国際音楽コンクール優勝、1999年ミュンヘン国際音楽コンクール最高位。

ミラノ・スカラ座フィルの首席奏者を8年間務めた後、ベルリン・フィルの首席客演奏者を1年間務めた。アバドの信頼を得て長年にわたりモーツァルト管の首席奏者を務め、この間にドイツ・グラモフォンより「モーツァルト:ホルン協奏曲集」等をリリースし高評を得る。2004年からローマ・サンタ・チェチーリア国立管の首席奏者として活躍し、ルツェルン祝祭管の首席奏者も務める。ソリストとして、ハンブルク響、フェニーチェ劇場管等のオーケストラと共演。また、アントニオ・バッパーノ指揮ローマ・サンタ・チェチーリア国立管との共演で、エリオット・カーターのホルン協奏曲のヨーロッパ初演や、イアン・ボストリッジとプリテンのセレナードを披露し、大絶賛される。指揮者としての活動も行き、ヒューマンライツ・オーケストラを創設し音楽監督を務めている。

Autumn

指揮:太田 弦

Gen Ohta, Conductor

1994年北海道札幌市に生まれる。幼少の頃より、チェロ、ピアノを学ぶ。

東京芸術大学音楽学部指揮科を首席で卒業。学内にて安宅賞、同声会賞、若杉弘メモリアル基金賞を受賞。現在同大学院音楽研究科指揮専攻修士課程に在籍。

2015年、第17回東京国際音楽コンクール(指揮)で2位ならびに聴衆賞を受賞。

指揮を尾高忠明、高関健の両氏、作曲を二橋潤一氏に師事。山田和樹、バーヴォ・ヤルヴィ、ダグラス・ボストック、ペーター・チャバ、ジョルト・ナジ、ラスロ・ティハニの各氏のレッスンを受講する。

これまでに読売日本交響楽団、東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、札幌交響楽団、群馬交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、大阪交響楽団を指揮、今後さらなる活躍が期待される若手指揮者筆頭。

photo credit: Takafumi Ueno

トランペット:ウーヴェ・コミシュケ

Uwe Komischke, Trumpet

1961年ノルライン・ヴェストファーレン州シュヴェルムに生まれる。弱冠18歳でゲルゼンキルヒェン市立交響楽団首席奏者に就任。

1983年に巨匠セルジュ・チェリビダッケが芸術監督を務めていた時代のミュンヘン・フィルハーモニー管弦楽団に首席トランペット奏者として移籍。ソリストとしてのオーケストラとの共演も多く、ミュンヘン室内管、シュトゥットガルト室内管、ブランデンブルグ響、ヴッパータール響、ゲルゼンキルヒェン市立響、東響、名古屋フィル、フランドル放送管(ブリュッセル)、モスクワ・ソロイスト等枚挙に暇がない。チェリビダッケ指揮=ミュンヘン・フィルとの共演による「J.ハイデン作曲、トランペット協奏曲変奏長調」の録音はセンセーションを巻き起こした。演奏家としての活動以外に、自らの名を冠した楽器の開発に携わり、EMR, Musikverlag Corpeteより練習曲、編曲譜等の楽譜の出版も行っている。

現在 ワイマル・フランツ・リスト音楽大学教授。

華道家:假屋崎 省吾

Shogo Kariyazaki

華道家。Kariyazaki Flower Professional Education School主宰。美輪明宏氏より「美をつむぎ出す手を持つ人」と評され、空間の魔術師とも呼ばれる。女子美術大学・特別招聘教授、日仏交流150周年フランス広報大使、オランダチューリップ大使などを務め、着物、ジュエリー、スカーフ、ガラス器などのデザイン・プロデュースをおこない、数多くのブランドを立ち上げ絶大な人気を集めている。ライフワークでもある花と建物のコラボレートとなる個展「歴史的建築物に挑む」を開催し、日本の城郭を花で彩る個展「名城シリーズ」も好評を博している。今年1月、シンジジウムの生花を7585個使った「世界で最も多いコサージュ展示」の世界ギネス記録にも認定された。また、世界各国で個展やデモンストレーションを開催し、海外でも目覚ましい活動を展開している。その他、ボランティア活動の一環として、花育や、少子化問題などの活動も積極的に取り組み、華道歴35周年を迎え、益々活躍の場を広げている。假屋崎 省吾 オフィシャルサイト <http://kariyazaki.jp/>

Winter

指揮:園田 隆一郎

Ryuichiro Sonoda, Conductor

2006年、シエナのキジアーナ夏季音楽週間「トスカ」を指揮してデビュー。翌年、藤原歌劇団「ラ・ボエーム」を指揮して日本デビューを果たす。同年夏にはペーザロのロッシーニ・オペラ・フェスティバル「ランスへの旅」を指揮し、その後もカターニアのペリーニ大劇場、ローニャ歌劇場、ジェノヴァ歌劇場、フランダース・オペラ、読売日本響、東京フィル、日本フィル、京都市響、大阪フィル、大阪響、日本センチュリー響など、国内外のオペラへの出演やオーケストラとの共演を重ねている。

2018年は神奈川フィル定期演奏会、没後150年を迎えるロッシーニの傑作オペラ「チェネントラ」公演(東京・大阪)をはじめ、オペラ公演および演奏会に出演予定。交響曲とオペラの両分野で今後の活躍が期待されている指揮者の一人である。

東京芸術大学音楽学部指揮科、同大学大学院を修了。遠藤雅古、佐藤功太郎、ロックハート、ジェルメッティ、ゼッダ各氏に師事。

2005年第16回五島記念文化賞オペラ新人賞。2017年度第16回齋藤秀雄メモリアル基金賞受賞。藤沢市民オペラ芸術監督。

photo credit: Fabio Parenzan

トロンボーン:ファブリス・ミリシエ

Fabrice Millischer, Trombone

1985年生まれ。幼少期からピアノ、チェロ、トロンボーンを学び、高校の頃にはすべてにおいてコンクールで優勝を果たす。トロンボーンをリヨン音楽院にてM.ベッケ、A.マンフラン、D.ラサールに師事。チェロをパリにてP.ミュレル、R.ビドゥ、X.フィリップに師事。2005年ブダペスト国際トロンボーンコンクール、06年トゥールーズ・パロック・トロンボーンコンクール入賞。そして07年ミュンヘン国際音楽コンクールで優勝を飾り、1950年同コンクール始まって以来、初のトロンボーンでの優勝という快挙を成し遂げ一躍話題をさらった。

シュトゥットガルト放送響、トゥールーズ・キャピトル国立管、ブザンソン管などと共演し、世界各地でのソロリサイタルやマスタークラスのほか、国際音楽祭にも多く招かれる。フランス最大の音楽大賞「ヴィクトワール・ド・ラ・ミュージック」にて最優秀若手音楽家賞、シャルル・クロス・アカデミー賞を受賞、芸術文化アカデミーより銀メダルを授与される。

楽器はアントワヌ・クルトフ、AC420を使用。<http://www.fabricemillischer.com>

■会場アクセス

演奏会へはできるだけ公共の交通機関でお越しください。

JR広島駅から……

【路線バス】所要時間:約20分

南口バスのりばA-3 ホームより、広島バス 24号線吉島営業所または吉島病院行「平和記念公園」下車すぐ

【市内電車】所要時間:約25分

広島港①行「袋町」下車、徒歩約10分/西広島②、江波⑥、宮島行「原爆ドーム前」下車、徒歩約10分

【タクシー】所要時間:約15分

